



国有林野  
事業の取組

四国森林管理局

# レクリエーションの森における取組

くいしやま

工石山自然休養林における森林・林業の体験交流



あからぎ  
「赤良木団地」に設置された木製展望台▲



「工石山県民の森」石碑

「レクリエーションの森」は、山岳、溪谷、湖沼などと併に美しい景観をつくりだしている森林、トレッキング、キャンプ、ハイキングといった屋外活動に適している森林を林野庁が指定したものです。その利用目的によって、自然休養林や風景林などに分類されています。現在、全国で1119箇所、約39万2千ヘクタールの国有林が指定されています。

本号では、四国森林管理局のレクリエーションの森における活動を紹介します。



森林環境教育のためのフィールド整備に向けた現地説明会▲

## 動植物種豊富な 自然休養林

四国森林管理局は、四国四県の国有林(約18万ヘクタール)を管理経営しています。このうち、1割に当たる約1万7千ヘクタールが、レクリエーションの森に指定されています。

今回紹介するくいしやま工石山自然休養林は、高知県の中央部、高





高知工高校建築科の生徒による展望台建築

知市と土佐郡土佐町にまたぐ標高1176メートルの工石山を主峰とする面積約290ヘクタールのレクリエーションの森です。高知市中心部から車で約1時間の距離にあり、「高知県民の森」、「高知市民の森」としても親しまれています。

ここには、モミ、ツガなどの針葉樹とアカガシ、ミズメ、ミスナラ等広葉樹を合わせて約500種類もの植物が生育しており、春は若葉、初夏のアケボノツツジやシヤクナゲの開花、秋は紅葉と季節折々の色を楽しむことができます。また、キジ、ヤマドリをはじめとする約100種の野鳥

ウスバシロチョウ、キアゲハ等約50種の昆虫、ムササビ、タヌキ、イタチ等のほ乳類、溪流にはサンショウウオ、アマゴ等の両生類・魚類などが生息し、自然研究のフィールドとしても利用されています。高知営林局(現四国森林管理局)は、この自然豊かな親しみやすい都市近郊の森を、国のレクリエーションの森制度が整備される前の昭和42年8月、全国最初の自然休養林として設定しました。

### 森林環境教育のためのフィールドの整備

四国局では、平成21年度から工石山自然休養林の豊かな自然を引き続き保全、活用しながら安全で効果的な森林環境教育のフィールドとして充実させるための整備に取り組んでいます。

整備の実施に先立ち利用者をはじめ県民、市民のニーズを反映させるため、登山者や教育委員会等へのアンケート調査を行うとともに、地元関係者、有識者等で構成される検討会を開催しました。その

結果、おおむね「工石山の特徴を活かした整備をすること」、「学習の場として適しているが、トイレ、一部の歩道、案内板等の施設整備が必要。」といった意見に集約されました。これを踏まえ、平成21年度に、安全で効果的な学習・体験活動を行うための全体構想等を取りまとめ、施設面では特に二ツの高かつたトイレを整備しました。

### 高校生がつくった木製展望台

登山口から徒歩約50分の道沿い、高知市街や太平洋の眺望がきく「赤良木園地」に、昨年6月、新たな木製展望台が設置されました。

これは、国産材利用推進の一環として四国局が提供したヒノキ(高知県産)の柱や板を材料として、高知工業高等学校建築科の生徒16名が、設計から加工、仮組み、基礎や柱・梁部分の設置作業、床板・腰板の取付けなどを行ったものです。

出来上がった展望台は、高さ4メートル、使用木材量3.4立方メートルの軸組工法の

2階建てで、完成後は、高知市の市街地や太平洋の眺めを楽しんだり、お弁当を広げる休憩所として、登山者や森林環境教育で訪れる児童・生徒に親しまれています。設置した高校生は、設計したものを実際に目に見える形にし、より実践的な形で建築を学んだことで、大きな自信を得たよかったです。

### 企業協力による森林保全

レクリエーションの森の環境美化活動や自然観察会に利用する案内板などの整備には、企業の協力も大きな力になります。今年6月2日、アサヒビール(株)高知支社、「工石山を楽しみながら良くする会」、四国局は協定を締結し、今後3年間にわたり、工石山の環境整備や保全活動を協力して行っていくこととなりました。

この協定締結の様子は、地元のテレビ・新聞でも報道され、今後予定されている自然保護の啓発看板の設置や清掃活動などの取組にも期待が集まっています。

### 今後の取組

本年度も、47都道府県木が植えてあるエリアの全体的なレイアウトの変更や案内板等の整備を行い、「工石山を楽しみながら良くする会」など関係団体と連携した森林環境教育の開催や情報の発信を進める予定です。

四国局では今後、工石山をはじめ四国のレクリエーションの森が、より一層親しまれる森林となるよう環境に配慮した施設や歩道の整備などを進めるとともに、ホームページの情報の充実や、一般の利用者が楽しみながら参加できる催しを実施していきます。



整備されたトイレ